

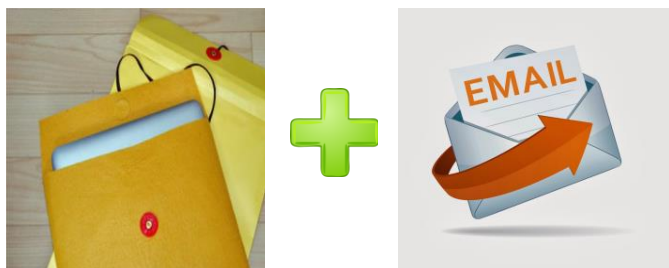
よくあるご質問(FAQ)

FAQ の一例としては、以下の通りです。

- 今行っている実験に新しい実施者の追加をしたい。
- 今行っている実験内容の変更および追加をしたい。
- 発生工学の依頼の手続きについて知りたい。
- 飼育室の明暗周期(時間)について知りたい。
- 飼育動物を他の飼育室へ移動したい。
- 三種混合麻酔薬と拮抗薬を使用したい場合はどうしたらよいか。
- 三種混合麻酔薬・拮抗薬の投与量を知りたい。
- 吸入麻酔薬(インフルラン)を使用したい場合はどうしたらよいか。
- 遺伝子高次機能解析センターで飼育している動物の飼育費支払い予算名目を変更したい。
- 飼育にかかる費用について知りたい。
- センター利用者登録カードの紛失、破損、カードリーダーがエラー表示となった場合はどうしたらよいのか。
- 見学者の一時入室を希望する。
- 実験機器を飼育エリアへ搬入をしたい。
- 実験機器機材を借りたい。(例:代謝ケージ、飼料(有料)、給水ビン)
- 各エリアの実験装置を使用したい。
- 動物発注に必要な提出書類を知りたい。
- 新規に動物実験教育訓練講習会を受講したい。
- 利用者カードの発行(入室研修の予約)をしてもらうにはどうしたらよいか。

Q. 今行っている実験に新しい実施者の追加をしたい。

A. 実験計画の変更がなく、実施者追加のみの場合は、動物実験実施者届に追加を記載した書面の提出とファイルを電子メールにて送付して下さい。



動物実験実施者届のダウンロードはこちらから



動物実験実施者届

提出、送信先は研究支援センター事務室・小野様宛へ

書類提出先

研究支援センター事務室 (L2 号館 1F)

TELL : 7756

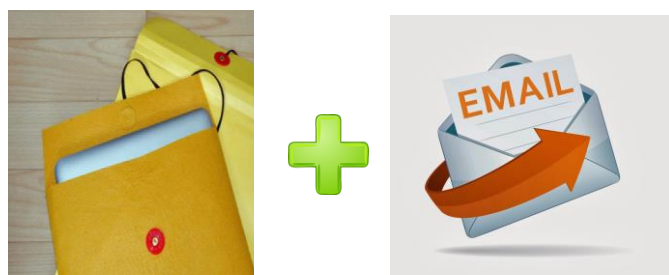
MAIL : onoya@kitasato-u.ac.jp

注意点！ * 上記の計画変更申請書の変更内容は**当該年度のみ有効です！！**

* 変更申請が承認されないと動物の発注等を受付できません。

Q. 今行っている実験内容の変更および追加をしたい。

A. 実験計画変更申請書に変更内容・追加を記載した書面の提出とファイルを電子メールにて送付して下さい。
(例:動物の購入先にオリエンタル酵母を追加する)



実験計画変更申請書はこちらから



動物実験計画変更申請

提出、送信先は研究支援センター事務室・小野様宛へ

書類提出先

研究支援センター事務室(L2 号館 1F)

TELL : 7756

MAIL : onoya@kitasato-u.ac.jp

注意点！ * 上記の計画変更申請書の変更内容は**当該年度のみ有効です！！**

* 変更申請が承認されないと動物の発注等を受付できません。

Q. 発生工学の依頼の手続きについて知りたい。

- A. (1) 動物実験計画書(承認済)の写し
(2) 遺伝子組換え実験計画書申請書(承認済)の写し
(3) 発生工学依頼申込書(センター書式8号)

上記(1)(2)(3)を事前にセンターに持参し、担当者の確認を得てください。

担当者

遺伝子高次機能解析センター

佐藤

PHS 12507

発生工学の依頼申込書はこちらから ➡

発生工学依頼申込書

Q. 飼育室の明暗周期(時間)について知りたい。

- A. 照明時間:6:00～20:00 照明(明:14 時間・暗:10 時間)となっております。

Q. 飼育動物を他の飼育室へ移動したい。

- A. 希望日の前日までに動物の移動・飼育届(センター書式9号)を提出して下さい。

・実験計画書に当該飼育エリアの記載が必要となりますので、計画書に記載がない場合は実験計画書変更届に変更内容を記載して提出して下さい。

動物の移動・飼育届はこちらから ➡

動物の移動・飼育届

学外からの搬入、学外への搬出は、別途提出書類が必要となります。

学外からの搬入、学外への搬出に伴う書類はこちらから ➡

遺伝子組み換え動物の搬入・搬出に伴う必要書

Q. 三種混合麻酔薬と拮抗薬を使用したい場合はどうしたらよいか。

A. 当該年度承認済みの動物実験計画書に三種混合麻酔薬使用の記載があれば、遺伝子高次機能解析センターから検定済みの三種混合麻酔薬を提供しております【有料】。

＊遮光コニカルチューブに入れてお渡します。

(事前に調整済み麻酔薬等の**検定**を行いますので**一週間前までに**オーダーしていただきますようお願いします。)

お支払いは、実験室消耗品記録に記載していただいた用紙および当センターにオーダーされたものを元に使用当該月の振替請求にて請求させていただきます。

受け渡しは 3F SPF エリア入口の隣にあります**発生工学実験室**でお渡しいたします。

【価格】

三種混合麻酔薬	10ml	¥ 1,324 (税込み)
アンチセダン(拮抗薬)	10ml	¥ 407 (税込み)

担当

遺伝子高次機能解析センター 佐藤 PHS 12507



三種混合麻酔薬
アンチセダン

Q. 三種混合麻酔薬・拮抗薬の投与量を知りたい。

A. 投与量は、こちらを参照してください。

マウス、ラットの三種混合麻酔薬・拮抗薬投与量

(1) 三種混合麻酔薬内訳

ドミトール	ミダゾラム	ベトルファール
0.75mg/kg	4mg/kg	5mg/kg

(2) アンチセダン (ドミトール拮抗薬)

2.25mg/kg

* 三種混合麻酔薬中のドミトールの3倍量に調整

投与量

動物種	(1) 三種混合麻酔薬	(2) アンチセダン	投与経路
マウス (10gあたり)	0.1ml	0.1ml	皮下or腹腔内
ラット (100gあたり)	0.5ml	0.5ml	皮下or腹腔内

Q. 吸入麻酔薬(イソフルラン)を使用したい場合はどうしたらよいか。

A. 当該年度承認済みの動物実験計画書に吸入麻酔薬(イソフルラン)使用の記載が必要となりますので、記載がない場合は実験計画書変更届に変更内容を記載して提出して下さい。

- 吸入麻酔装置の麻酔箱は、余剰ガスの暴露を防ぐため 3F SPF エリアは実験室内の局所排気装置の下で使用して下さい。
- 2F 流通エリア、1F 中大動物エリアでは、ラミナーフローラックの上で使用して下さい。



- 麻酔薬は各自購入して頂き、使用量を麻酔装置へ補充して下さい。



価格 250ml 7150円(税込)

Q. 遺伝子高次機能解析センターで飼育している動物の飼育費支払い予算名目を変更したい。

(例: 科研費 ⇒ 一般研究費)

A. lac@med.kitasato-u.ac.jp 宛てにメールを送付して下さい。もしくは内線 8879 まで。

Q. 飼育にかかる費用について知りたい。

A. センター利用の手引き(P-50)を参照して下さい。

センター利用の手引きはこちらから ➡

遺伝子高次機能解析センター利用の手引き

Q. センター利用者登録カードの紛失、破損、カードリーダーがエラー表示となった場合はどうしたらよいのか。

- A. カードエラーとなった場合は、ご使用中のカードの確認が必要となりますのでカードをセンターへ持参してください。(例:複数名で一緒に入室した際にカードリーダーに自分のカードをかざさずに入室してしまった。) 紛失、使用不可能となってしまった場合は、カードの再発行(3000円)申請をしていただく必要があります。

担当

遺伝子高次機能解析センター

阿部

TELL : センター居室 8879

Q. 見学者の一時入室を希望する。

- A. 遺伝子高次機能解析センター登録者以外のエリア内一時入室許可願(センター書式5号)を提出してください。「見学等による一時入室の許可は一回のみ」

ただし、**入室条件として、一週間以内に他の動物施設等に入室していないこと!!**

一時入室許可願はこちらから



一時入室許可願

Q. 実験機器を飼育エリアへ搬入をしたい。

- A. 一週間前までに実験機器の搬入許可願(センター書式 10 号)と添付書類(資料・カタログ等)を提出してください。

- ・機器がエリア内にあり共有できるものか、また搬入可能なものかについて確認し、ご連絡をさせていただきます。
- ・実験計画書に当該機器の記載が必要となりますので、計画書に記載がない場合は実験計画書変更届に変更内容を記載して提出して下さい。
- ・搬入時の消毒はセンター職員の方で行います。

実験機器の搬入許可願の書式はこちらから



実験機器搬入許可願

Q. 実験機器機材を借りたい。(例:代謝ケージ、飼料(有料)、給水ビン)

- A. 一週間前までに実験機材の借用願(センター書式 11 号)を提出して下さい。

- ・貸出し機器について実験計画書の記載が必要となります。記載がない場合は実験計画書変更届に変更内容を記載して提出して下さい。

実験機材の借用願の書式はこちらから



実験機材の借用願

Q ・各エリアの実験装置を使用したい。

A. 事前に担当者へ問い合わせ下さい。

- ・実験計画書に当該機器の記載が必要となりますので、計画書に記載がない場合は実験計画書変更届に変更内容を記載して提出して下さい。



動物実験計画変更申請

3F SPF エリア

(久保地 PHS:12505)



×線照射装置（小動物用）

1F 中大動物エリア

(梶原 PHS:12506 ・高城 9359)



×線透視装置



軟×線撮影装置

*フィルム現像式

1F 特別研究エリア

連絡先

実験動物学

大久保 直 先生

TELL:9206

MAIL: okubo@med.kitasato-u.ac.jp

[リンクページ](#)



マウス行動解析装置

Q. 動物発注に必要な提出書類を知りたい。

A. (1) 一般調達は、A.「動物発注・飼育申込書」(センター書式1号)と B.「ACOffice で作成した発注書」の2枚セットで提出して下さい。

AとBの内容が合致している事。

(1) 一般調達

A

B

遺伝子高度情報解析センター様式1号

20 年 月 日

動物発注・飼育申込書

動物実験・実習責任者 _____ 印
 研究単位 _____ 実験実施者 _____
 実験計画書 承認番号 20 _____
 連絡先 _____ call _____ 携帯電話 _____
 E-mail _____ ④ _____

・動物飼育エリア： 発生 SP 特別研究 流通（一般・P2・市街・陸産物） 感染実験

中大動物（イス・ブタ・ウサギ・モルモット・ワット・トリ）水産動物

その他（ ）

・動物入手希望日： 年 月 日 ・利用期間：（ ） 日（ ） 週（ ） ヶ月（ ）

・動物種： _____ 系統： _____ （ ） 遺伝子組換え動物（ ）

・動物数： オス _____ 匹、 メス _____ 匹 計 _____ 匹

・規格：（年齢） _____ 月齢 _____ 年齢 _____ 日齢 _____ 日齢 _____ 日

（体重） _____ g 〜 _____ g、 _____ kg 〜 _____ kg（ μ g、 μ mol ）

・微生物の品質： 無菌 ・ SPF ・ ターミン（ヘルシー） ・ 普通（コンベンショナル）

・生産地： 和牛（和牛） 日本肉牛 ・ 東京実験動物 日本 SLC ・ 自家繁殖

その他（ ）

・実験内容：

・搬入後繁殖の有無 無 ・ 有（ ）

・飼育中の注意、特別飼料の指定： 無 ・ 有（ ）

・動物死亡時の連絡： 必要 ・ 不要（ ）

・死亡動物の処理： 廃棄 ・ 冷凍保存 ・ その他（ ）

・動物飼育費および飼育管理費 支払区分に①印 伝票（グループ番号） _____

（動物費： 医薬品 ・ 医薬品送料 内容コード 1 ・ その他（ ）

（一般研究費 ・ 実習費 ・ 学生論文 ・ 科研費 ・ 受託 ・ 助成 ・ その他： _____

（受託者名称 ・ 宛名： _____

飼育者： 医学部 ・ 臨床基礎研究科 内容コード _____ ・ その他（ ）

（一般研究費 ・ 実習費 ・ 学生論文 ・ 科研費 ・ 受託 ・ 助成 ・ その他： _____

（受託者名称 ・ 宛名： _____

※ 科研 ・ 受託 ・ 助成での支払の時給は受託者名義を明認に記入のこと。

受託担当窓口欄 No. _____

伝 言 室	発注担当	教員 係

[illegible]

(1) 一般調達

A. 「動物発注・飼育申込書」(センター書式1号)

新書式(センター書式1号)には、ACOfficeの伝票グループ番号記載箇所がありますので、ご記入ください。

遺伝子高次機能解析センター書式1号
2024年6月1日

記入例

動物発注・飼育申込書

動物実験・実習責任者 山田 花子 山田

研究単位 遺伝子高次機能解析センター 実験実施者 山田 花子

実験計画書 承認番号 2024-001

連絡先 Tel 8879 call 携帯電話

E-mail @

・動物飼育エリア: 発生 SPF 特別研究 流通 (一般・P2・毒性・検疫室) 感染実験
中・大動物 (イヌ・ブタ・ウサギ・モルモット・ラット・トリ) 水棲動物
その他 ()

・動物入手希望日: 2024年7月1日 ・利用期間: (日) (週) (ヶ月)

・動物種: マウス 系統: C57BL/6N (☐ 遺伝子組換え動物)

・動物数: オス 15 匹、メス 匹 計 15 匹

・規格: [年齢] 7 週齢 月齢 年齢 日齢 妊娠 日目
[体重] g ~ g、 kg ~ kg 【plug+ / =0】

・微生物学的品質: 無菌・SPF・クリーン (ヘルシー)・普通 (コンベンショナル)

・生産場: 和国外産・日本外・東京実験動物・日本SLC・自家生産
その他 ()

・実験内容:

・搬入後繁殖の有無 無 有 ()

・飼育中の注意・特別飼料の指定: 無 有 ()

・動物死亡時の連絡: 必要・不要 ()

・死亡動物の処理: 廃棄・冷蔵保存・冷凍保存・その他 ()

・動物購入費および飼育管理費 支払区分に○印 伝票グループ番号 記入

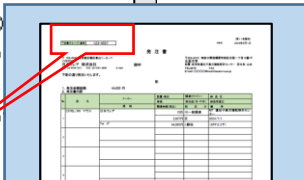
動物費: 医学部・医療系研究科 [内容コード:]・その他 ()
(一般研究費・実習費・学生論文・科研費・受託・助成・その他:)
(受給者名義・宛名:)

飼育費: 医学部・医療系研究科 [内容コード:]・その他 ()
(一般研究費・実習費・学生論文・科研費・受託・助成・その他:)
(受給者名義・宛名:)

※ 科研・受託・助成での支払の時は受給者名義を明確に記入のこと。

発注担当記入欄 No.

担 当 者	発注担当	教 員 係



「動物発注・飼育申込書」(センター書式1号)はこちらから ➡

動物発注・飼育申込書

B.「ACOffice で作成した発注書」

[illegible]

(大学院生は、ACOffice を使用出来ないため共通事務室で代理発注を行いますので、動物確保の
為、納入希望日の**二週間前までに共通事務室の堀之内様**へ依頼をするようにして下さい。)

連絡先: 共通事務室 堀之内様

TEL:8893

MAIL:horino@kitasato-u.ac.jp

(2) **科研費**は、A「**動物発注・飼育申込書**」(センター書式1号)とB「**科学研究費 物件調達申請書 兼 発注書**」(大学書式6号)の**二枚セット**で提出して下さい。

AとBの内容が合致している事。

(2)科研費

A

遺伝子高度機能解析センター書式1号
20 年 月 日

動物発注・飼育申込書

動物実験・実習責任者 _____ 印
研究単位 _____ 実験実施者 _____
実験計画書 承認番号 20 _____
連絡先 Tel _____ call _____ 携帯電話 _____
E-mail _____ @ _____

・動物飼育エリア: 発生 SFP 特別研究 流通 (一般・P2・毒性・感染症) 感染実験
中・大動物 (イヌ・ブタ・ウサギ・モルモット・ラット・トビ) 水陸動物
その他 ()

・動物入手希望日: 年 月 日 ・利用期間: (日) (週) (ヶ月)

・動物種: _____ 系統: _____ (□ 遺伝子組換え動物)

・動物数: オス _____ 匹、メス _____ 匹 計 _____ 匹

・規格: [年齢] _____ 週齢 _____ 月齢 _____ 年齢 _____ 日齢 _____ 日齢
[体重] _____ g ~ _____ g 、 _____ kg ~ _____ kg 【 plug+ / =0 】

・微生物学的品質: 無菌・SFP・クリーン (ヘルシー)・普通 (コンベンショナル)

・生産地: 卵の卵母細胞 日本IVT・東京実験動物・日本SLC・自家生産
()
その他 ()

・実験内容:
・搬入後繁殖の有無 無・有 ()
・飼育中の注意・特別飼料の指定: 無・有 ()
・動物死亡時の連絡: 必要・不要
・死亡動物の処理: 廃棄・冷蔵保存・冷凍保存・その他 ()

・動物搬入費および飼育管理費 支払区分に○印 伝票グループ番号 _____
動物費: 医学部・医薬系研究科 [内容コード: _____] ・その他 ()
(一般研究費・実習費・学生論文・科研費・受託・助成・その他:)
(受給者名義・宛名:)

飼育費: 医学部・医薬系研究科 [内容コード: _____] ・その他 ()
(一般研究費・実習費・学生論文・科研費・受託・助成・その他:)
(受給者名義・宛名:)

※ 科研・受託・助成での支払の時は受給者名義を明確に記入のこと。

発注担当記入欄 No. _____

担 当 者	発注担当	教 員 係

B

(北里大学専用)
20 年 月 日

(様式 8号)

科学研究費 物件調達申請書 兼 発注書

申請者 (内線:) 番	研究 種目	数量	金 額	備 考
区分 ○で囲む	摘 要			
物品費・旅 費 謝 金・その他		1式		
物品費・旅 費 謝 金・その他				
物品費・旅 費 謝 金・その他				
物品費・旅 費 謝 金・その他				
物品費・旅 費 謝 金・その他				
物品費・旅 費 謝 金・その他				
物品費・旅 費 謝 金・その他				
計				

発注年月日 20 年 月 日 研究者発注済 (○印⇒)

※添付書類については『公的研究費ハンドブック』参照のこと
◎お取り置き様へ・・・納品当日は、納品・請求書持参の上、下記チェック欄
に指定された部署に納品して下さい。
□ 所属センターを経由して納品して下さい。
□ _____に納品して下さい。

事務長	課長	係長	主任	担当

発注印
受付印

遺伝子高次機能解析センター書式1号

2024年6月1日

記入例

動物発注・飼育申込書

動物実験・実習責任者 山田 花子 山田
 研究単位 遺伝子高次機能解析センター 実験実施者 山田 花子
 実験計画書 承認番号 2024-001
 連絡先 Tel 8879 call 携帯電話
 E-mail @

- ・動物飼育エリア：発生 SPF 特別研究 流通（一般・P2・毒性・検疫室）感染実験
中・大動物（イヌ・ブタ・ウサギ・モルモット・ラット・トリ）水棲動物
その他（ ）
- ・動物入手希望日：2024 年 7 月 1 日 ・利用期間：（ 日 ）（ 週 ）（ ヶ月 ）
- ・動物種：マウス 系統：C57BL/6N（ ☐ 遺伝子組換え動物 ）
- ・動物数：オス 15 匹、メス 匹 計 15 匹
- ・規格：[年齢] 7 週齢 月齢 年齢 日齢 妊娠 日目
[体重] g ~ g 、 kg ~ kg 【 plug+ / =0 】
- ・微生物学的品質：無菌・SPF・クリーン（ヘルシー）・普通（コンベンショナル）
- ・生産場：オリエンタル酵母・日本スライム・東京実験動物・日本SLC・自家生産
その他（ ）
- ・実験内容：
- ・搬入後繁殖の有無 無 有（ ）
- ・飼育中の注意・特別飼料の指定 無 有（ ）
- ・動物死亡時の連絡：必要・不要
- ・死亡動物の処理：廃棄・冷蔵保存・冷凍保存・その他（ ）
- ・動物購入費および飼育管理費 支払区分に○印 伝票グループ番号
- 動物費：医学部・医療系研究科〔内容コード： 〕・その他（ ）
（一般研究費・実習費・学生論文・科研費・受託・助成・その他： ）
（受給者名義・宛名：北里大学 科研費 基盤研究（△）研究代表者 山田 花子）
- 飼育費：医学部・医療系研究科〔内容コード： 〕・その他（ ）
（一般研究費・実習費・学生論文・科研費・受託・助成・その他： ）
（受給者名義・宛名：北里大学 科研費 基盤研究（△）研究代表者 山田 花子）

※ 科研・受託・助成での支払の時は受給者名義を明確に記入のこと。

発注担当記入欄 No.

担当者	発注担当	教員係

B 「科学研究費 物件調達申請書 兼 発注書」(大学書式6号)

(北里大学専用)

(様式 6 号)

No. _____

2024 年 7 月 1 日

記入例

科学研究費 物件調達申請書 兼 発注書

申請者 山田 花子		〔内線：8879〕 		研究 種目	基盤研究 (△)	
区分 (○で囲む)	摘 要			数量	金 額	備 考
物品費・旅費 謝金・その他	日本クレア C57BL/6N 7 W 雌 オス			15 匹	44,055 円	
物品費・旅費 謝金・その他						
物品費・旅費 謝金・その他						
物品費・旅費 謝金・その他						
物品費・旅費 謝金・その他						
物品費・旅費 謝金・その他						
物品費・旅費 謝金・その他						
物品費・旅費 謝金・その他						
計					44,055 円	

発注年月日

20 年 月 日

研究者発注済 (○印⇒)

※添付書類については『公的研究費の取扱い』参照のこと

◎お取引業者様へ・・・納品当分の間に指定された部署に納品して

☐ 検収センターを経由し

☐ 事務室を経由して納品

☐ _____

事務長

課長

係長

主任

担当

発注印

事務長

課長

係長

主任

担当

受付印

「科学研究費 物件調達申請書 兼 発注書」はこちらから

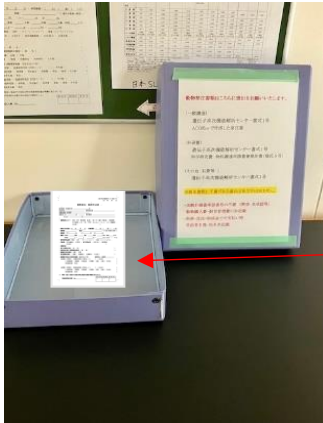


科研費申請書・発注書

(3) その他・私費等は、「動物発注・飼育申込書」(センター書式1号)

遺伝子高次機能解析センター書式1号							
2024年6月1日							
記入例 動物発注・飼育申込書							
動物実験・実習責任者 <u>山田 花子</u>							
研究単位 <u>遺伝子高次機能解析センター</u>	実験実施者 <u>山田 花子</u>						
実験計画書 承認番号 <u>2024-001</u>							
連絡先 Tel <u>8879</u> call <u> </u> 携帯電話 <u> </u>							
E-mail <u> </u> @ <u> </u>							
・動物飼育エリア: 発生 <u>SPF</u> 特別研究 流通 (一般・P2・毒性・検疫室) 感染実験 中・大動物 (イヌ・ブタ・ウサギ・モルモット・ラット・トリ) 水棲動物 その他 (<u> </u>)							
・動物入手希望日: <u>2024年7月1日</u> ・利用期間: (<u> </u> 日) (<u> </u> 週) (<u> </u> ヶ月)							
・動物種: <u>マウス</u> 系統: <u>C57BL/6N</u> (☐ 遺伝子組換え動物)							
・動物数: オス <u>15</u> 匹、メス <u> </u> 匹 計 <u>15</u> 匹							
・規格: [年齢] <u>7</u> 週齢 <u> </u> 月齢 <u> </u> 年齢 <u> </u> 日齢 妊娠 <u> </u> 日目 [体重] <u> </u> g ~ <u> </u> g 、 <u> </u> kg ~ <u> </u> kg 【 plug+ / =0 】							
・微生物学的品質: 無菌・ <u>SPF</u> ・クリーン (ヘルシー)・普通 (コンベンショナル)							
・生産場: 和E卵酵母・ <u>日本列</u> ・東京実験動物・日本 SLC・自家生産 その他 (<u> </u>)							
・実験内容:							
・搬入後繁殖の有無 <u>無</u> ・有 (<u> </u>)							
・飼育中の注意・特別飼料の指定: <u>無</u> ・有 (<u> </u>)							
・動物死亡時の連絡: <u>必要</u> ・不要							
・死亡動物の処理: <u>廃棄</u> ・冷蔵保存・冷凍保存・その他 (<u> </u>)							
・動物購入費および飼育管理費 支払区分に○印 伝票グループ番号							
動物費: 医学部・医療系研究科 [内容コード: <u> </u>]・その他 (<u> </u>) (一般研究費・実習費・学生論文・科研費・受託・助成・その他: <u>私費</u>) (受給者名義・宛名: <u>山田 花子</u>)							
飼育費: 医学部・医療系研究科 [内容コード: <u> </u>]・その他 (<u> </u>) (一般研究費・実習費・学生論文・科研費・受託・助成・その他: <u>私費</u>) (受給者名義・宛名: <u>山田 花子</u>)							
※ 科研・受託・助成での支払の時は受給者名義を明確に記入のこと。							
発注担当記入欄 No. <u> </u>	<table><thead><tr><th>担当者</th><th>発注担当</th><th>教員係</th></tr></thead><tbody><tr><td><u> </u></td><td><u> </u></td><td><u> </u></td></tr></tbody></table>	担当者	発注担当	教員係	<u> </u>	<u> </u>	<u> </u>
担当者	発注担当	教員係					
<u> </u>	<u> </u>	<u> </u>					

上記(1)(2)(3)に該当する書類を動物搬入予定日の前週月曜日 16:00 までに教員係または動物センターに提出して下さい。



就業時間内でのセンター
一居室前の BOX への
投函も可能です。

*** 実験計画書番号の誤植等、提出書類に不備がある場合は返却させて
頂く事がございますので、ご注意ください。**

Q. 新規に動物実験教育訓練講習会を受講したい。

A. 新規の受講につきましては、更新と異なり特定日を設けず対応となっております。
受講希望日時の調整を大久保先生と直接ご相談してください。

連絡先

実験動物学

大久保 直 先生

TELL:9206

MAIL: okubo@med.kitasato-u.ac.jp

Q. 利用者カードの発行(入室研修の予約)をしてもらうにはどうしたらよいか。

A. 利用者カードの発行は、届出制となります。

カードの発行条件は、

1. 動物実験教育訓練講習会を受講している事。
2. 当該年度の動物実験計画書(計画書番号 例 2024-001 等)に名前が記載され承認を受けている事。



(記載がない場合は、動物実験計画書変更届を提出し実施者の追加申請の承認が必要となります)

動物実験実施者届についてはこちらを参照してください ➡

実施者の追加申請

3. 利用者カード発行申込みをしている事。

入室研修の予約をして頂いてから、入室研修時にカードをお渡しします。

予約制

1. 入出研修は、事前予約制です、各エリアごとに必要となります。
2. 日程:当該エリア担当者に確認後、ご連絡致します。(なるべく週の後半にお願い致します)

連絡先

遺伝子高次機能解析センター

TEL: センター居室 8879

MAIL: lac@med.kitasato-u.ac.jp